



機能性育種～面積を稼ぐ！

品種選びが植栽の風景もコストも変えます

「大量に使うから、種苗費はできるだけ安くしよう。」
こう考えている植栽関係者の方は実は植栽風景がうまく作れないだけでなく、コストもかかっているかもしれません。

同じ作目でも品種により草姿が大きく異なることがあります。
単に株が広がるだけでなく、株全体を花が覆うほどに密に咲くことも植栽で成功する要因です。

このページでは、広大性品種をご紹介します。

ペチュニア～2つの広大性品種



2019年7月26日撮影
フラッシュフォワードピンク

春・夏花壇に欠かせないペチュニア。シリーズにより草姿が最も大きく異なる作目の一つです。

成田シードセンターでの試験において広大性ペチュニアは毎年無数の花を株一面に咲かせます。

今回発表したフラッシュフォワードとフォトフィニッシュ、いずれも広大性品種です。

広大性と耐病性を備える～コーラカスケード

暑さに強いビンカ。その中でも
コーラXDRはビンカの大敵疫病に
耐性を持っています。



2013年7月23日撮影



2018年8月28日撮影

コーラカスケードも同様に耐病性
を持ち、かつ横に大きく広がる
性質があるため、夏の暑さを越えて
花壇を彩り続けます。
中心部も開花するため、株一面に
咲き誇ります。

圧倒的な強さ～ラヴァ

耐暑性と広大性、そして多花性を兼ね備えたポーチュラカ。

ありきたりな作目であるがため、フィールドで現物を見て驚く人が多いシリーズです。



2014年8月4日撮影

広大性品種はコストだけ？

大きく広がる品種は単位面積当たりの植栽本数が少なく、
済むのは利点の一つです。

一方で、広大性品種は「株が大きくなるのが早い」という
特徴も持ち合わせます。

株が大きくなりやすい性質を利用して、植栽本数は従来の
まま、植え替えから花壇の見ごろまでの時間を短縮すること
も可能です。

広大性品種は時間短縮にも役立ちます

広大性品種の使い方は多様です！

1. 単位面積あたりの本数が少なくなる。
2. 無数の花でカーペット状の花壇が創造できる。
3. 花壇作成の時間短縮も可能。

大きくなるだけじゃない魅力があります！